

# ついでにミニネットコーナー

ミニネット  
No.30

## 作業の終了の知らせ方

教室の中を歩き回って多くの友達と意見交流したり、教室内を掃除したりする場面が多いですよね。多くの場合、教師が大きな声で「はいっ！ やめなさい！ 席に着きなさい！」と大声で作業の中断を知らせます。

これはこれでいいのですが、一所懸命やっている作業を大声で中断させるのも、スマートではありませんね。

そこで、合図係を決めておくのです。これは教師が指名してもいいし、立候補を募ってもいいでしょう。学級全体には「この子が教室の前で手を挙げたら席に着きなさい」と確認しておきます。

作業が始まり、時間が来たらその子にアイコンタクトなどで手を挙げることを促します。また、あらかじめストップウォッチを渡しておき、「3分経ったらよろしくね」とお

願いしておくのもいいでしょう。

作業時間が終わり、担当の子が前に立つと、気づいた子どもたちが次々に着席してきます。全員が着席し終わったら担当の子が「(気づいて着席してくれて)ありがとうございます」とひと声発して終わります。教師は次の指導へスムーズに移行できます。

子どもたちが素早く着席してくれたら「早く気づいてくれてありがとう」と感謝の言葉をかけましょう。何事も「早く気づいて行動する」ことは大切だからです。



イラスト | 吉田朋子

※これは大阪の金大竜先生の実践を参考にしたものです。金先生は教師が手を挙げ子どもたちに気づかせます。私はこれを子どもに任せる形にしました。